

BIBLE + MESSAGE

…先の者があとになり、あとの者が先になることが多いのです。

(マルコ 10 章 31 節)

長谷川町子さんが自叙伝のなかで引用されたのが、上記の聖書のことばです。これはイエス・キリストが弟子たちに語られた大切な教えでした。「先の者」と「あとの者」という二つを比較することばは、さまざまな意味に解釈することができますが、その教えの中心は「高慢になってはならない」ということだと思えます。

私たちは時折、自分と他の人とを比較して、「自分のほうが優位だ」と思ってしまうことがあるかもしれません。これが「先の者」です。しかし、そのような慢心は気の緩みを生み出します。そうこうしているうちに、自分の後ろにいたと思っていた「あとの者」が、先にゴールしているのです。日本の昔話にも「ウサギとカメ」の話がありますが、人生にはそのようなことが何と多いことでしょうか。

聖書が教える祝福された人生の秘訣は「自分を低くすること」です。謙遜な人は、他人の話に耳を傾けます。同じように自分を低くして、聖書のことばを読む時、大きな祝福を見出すことができます。



- ◆名鉄バス「日名町」前
- ◆愛知環状鉄道「北岡崎駅」から西へ徒歩3分
- ◆アピタ北岡崎店 筋向かい



スマホで上記のQRコードを読み込むと地図を表示できます。

【日曜学校】日曜：午前 10 時～ 10 時 45 分 【礼拝】日曜：午前 11 時～ 12 時半
【午後の集会】日曜：午後 3 時～ 4 時半 【聖書研究会】木曜：19 時半～ 21 時

聖書を読んだ日本人

日曜日の夕方 6 時半といえば、「サザエさん」が定番です。テレビでの放映が始まったのが昭和 44 年（1969 年）ですから、50 年近くの間、日本のお茶の間を賑わしてきたことになりました。サザエさん、マスコさん、波平さんにフネさん、カツオにワカメにタラちゃん。他にもたくさんさんのキャラクターが登場します。ご年配の方から小さな子どもに至るまで、日本人であれば誰もが知っている国民的アニメだと思います。

原作者の長谷川町子は、三人姉妹の次女として佐賀県に生まれました。小さい時から漫画家になることを夢見ていた町子は、16 歳の時にマンガ「のらくろ」の作者である田河水泡（たがわすいほう）の家に住

み込みで弟子入りすることになります。そこには、クリスチャンであった母の後押しもあったそうです。しかし、町子はホームシックになってしまいます。そして、週に一度は家に帰りたいという思いから、田河に会う相談します。「毎週教会に通いたいから、日曜日にお暇がもらえないか？」ところが、田河家の隣には別の教会があったため、町子は田河夫妻とともに、その教会に通うことになってしまったのです。このことは彼女にとって本意ではありませんでしたが、これをきっかけとして田河夫妻は信仰の道に導かれることになったそうです。

後に町子は、自叙伝の中で、「『後なる者は先に、先なる者は後に』



サザエさんの原画（連載第一回）

という聖書の教えの生けるサンプルとして、神様のお役に立つことができた」と語りました。町子自身もまた、一人のクリスチャンとして信仰の道を歩むようになったのです。町子は 1939 年から連載を始め、女性漫画家としての地位を確立。途中、戦争を経験しますが、終戦後の 1946 年より、夕刊フクニチでサザエさんの連載を開始。以来、1974 年に至るまでサザエさんを書き続けました。



長谷川 町子
(はせがわ まちこ)

1920 年～ 1992 年